

# 大正製薬グループについて

大正製薬グループの統括会社として、2011年10月に大正製薬ホールディングスが設立されました。大正製薬の100年を超える伝統とその間に培ってきた信頼を強固な礎としながら、グループ各社の新たな成長と、グループとしての一層の企業価値向上をめざして、時代や生活者ニーズに的確に対応していきます。

## 新たな体制で、一層の飛躍をめざす

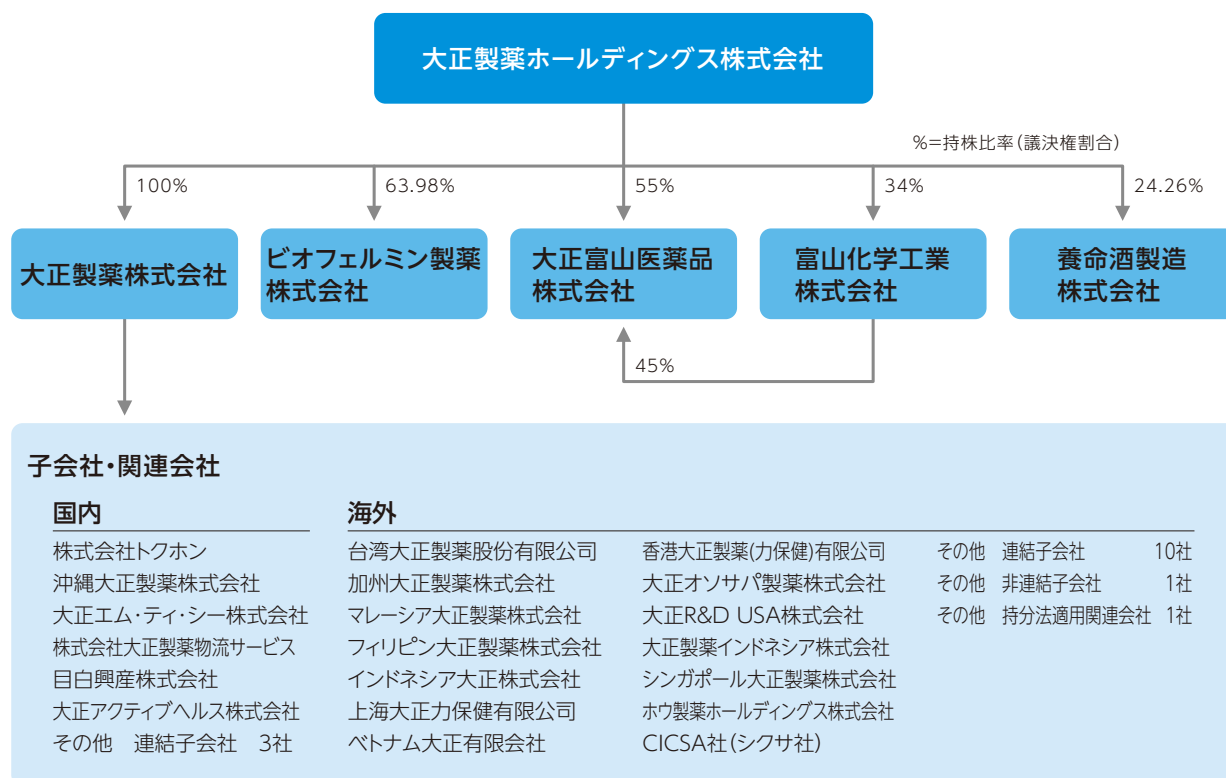
大正製薬の大きな基盤であった営業力を生かすため、「リポビタミンD」などの自社ブランド強化とともに、「ヴィックス」や「コーラック」などのグローバルブランドを買収することで、OTC医薬品市場でのシェアを拡大してきました。さらに2005年からは、養命酒製造、ビオフェルミン製薬との資本提携を行い、トクホンを完全子会社化するなど新たな事業戦略を展開しました。国内だけでなく海外においても、特集2 (p.14~15) にあるように事業展開を積極的に進めています。医薬事業においては、研究開発の重点領域を「感染症」「整形外科疾患」「精神疾患」「代謝性疾患」に絞り込み、世界に通用するオリジナルの新薬を開発する体制を強化しています。2002年に資本提携した富山化学工業と合併で設立した大正富山医薬品は、感染症領域におけるリーディングカンパニーとなっています。

こうした事業規模の拡大に伴い、各社がそれぞれの分野で実力を発揮するため、グループ全体の経営効率・効果を追求する目的で2011年に持株会社大正製薬ホールディングスを設立しました。当社がグループ全体の統括会社として経営資源の効果的な配分を行い、事業活動を展開しています。

## 会社概要

名称：大正製薬ホールディングス株式会社  
 設立：2011年10月3日  
 代表者：代表取締役社長 上原 明  
 事業内容：一般用医薬品、食品、雑貨等の製造、販売および医療用医薬品の製造、販売等を行う子会社等の経営管理およびそれに付帯または関連する業務を担う持株会社  
 資本金：30,000百万円  
 従業員数：6,381名(連結)

## ● 大正製薬グループの組織体制図



(2014年3月31日現在)